

## NY マーケットレポート (2017年6月5日)

NY 市場は、序盤に発表された非農業部門労働生産性が市場予想ほど悪化しなかったことや、米国債利回りが上昇したことなどを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、英国の総選挙や米 FBI 前長官の公聴会を控えて様子見ムードが強まっていたこともあり、上値の重い動きとなった。特に、米国の7月以降の利上げ見通しが不透明となったことが影響し、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、株価が上値の重い動きとなったことや、米国債利回りの低下もあり、クロス円も上値の重い動きとなった。そして、メキシコの州知事選で与党候補が勝利したことを受けてメキシコ・ペソが上昇となり、対ドルでは2016年11月9日以来の高値を付ける動きとなった。

### 2017年6月5日 (月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.53	110.73	110.32
EUR/JPY	124.51	124.71	124.41
GBP/JPY	142.36	142.50	141.97
AUD/JPY	82.54	82.58	81.94
EUR/USD	1.1265	1.1284	1.1260

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.63	110.46
EUR/JPY	124.56	124.25
GBP/JPY	142.82	142.17
AUD/JPY	82.74	82.53
EUR/USD	1.1272	1.1236

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.48	110.68	110.38
EUR/JPY	124.36	124.47	124.20
GBP/JPY	142.54	143.10	142.53
AUD/JPY	82.72	82.78	82.59
NZD/JPY	78.87	78.98	78.81
EUR/USD	1.1256	1.1265	1.1234
AUD/USD	0.7488	0.7498	0.7467

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21184.04	-22.25
S&P500	2436.10	-2.97
NASDAQ	6295.68	-10.11
日経225 (CME)	20115	-20
トロント総合	15409.78	-32.97
ボルサ指数	49592.49	+275.11
ボベスパ指数	62450.45	-60.24

#### 6/6 経済指標スケジュール

08:01	【英国】5月BRC小売売上高[既存店]
09:00	【日本】4月毎月勤労統計[現金給与総額]
10:00	【ニュージーランド】5月ANZ商品価格指数
10:30	【オーストラリア】1Q経常収支
13:30	【オーストラリア】政策金利発表
17:30	【欧州】6月センチックス投資家信頼感
18:00	【欧州】4月小売売上高
18:30	【南アフリカ】1Q GDP
18:30	【南アフリカ】5月SACCI景況感指数
23:00	【カナダ】5月Ivey購買部協会指数
23:00	【米国】4月JOLT労働調査[求人件数]
23:00	【米国】6月IBD/TIPP景気楽観指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1282.70	+2.50
NY 原油	47.40	-0.26
CMEコーン	373.00	+0.25
CBOT 大豆	922.00	+0.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.302%	1.282%
3年債	1.443%	1.418%
5年債	1.742%	1.712%
7年債	1.995%	1.962%
10年債	2.182%	2.150%
30年債	2.840%	2.803%

ドイツ10年債	0.287%	0.274%
英国 10年債	1.041%	1.038%

#### 6/6 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1Q米非農業部門労働生産性(前期比年率) 0.0% (予想 -0.1%・前回 -0.6%)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ 非農業部門労働生産性指数 ▶

	1-3 確報	1-3 速報	10-12	7-9	4-6
非農業部門労働生産性指数	0.0	-0.6	1.8	3.3	-0.1
生産	1.7	1.0	2.7	4.2	1.6
労働総投入量	1.7	1.6	1.0	0.8	1.7
時間あたり給与	2.2	2.4	3.1	4.1	6.1
実質給与	-0.9	-0.8	0.0	2.2	3.7
単位あたり労働コスト	2.2	3.0	1.3	0.7	6.2
単位あたり非労働コスト	0.4	-0.4	2.9	1.6	-2.8
価格指数	1.4	1.5	1.9	1.1	2.3

(前期比、年率%)

米 1-3 月期の非農業部門の労働生産性の確定値は、年率換算で前期比横ばいとなり、速報値-0.6%から上方修正された。速報値に比べ生産性の伸びが大きく上方修正されたことが影響した。前年同期比では+1.2%と速報値から 0.1 ポイントの上方修正となった。

①賃金の指標である単位労働コストは、前期比+2.2%となり速報値から 0.8 ポイントの下方修正となった。前年同期比では+1.1%となり、速報値から 1.7 ポイントの下方修正となった。

②労働生産性では、生産が+1.7%、前年比で 2.5%。労働時間が+1.7%、前年比で+1.3%。時間当たりの労働報酬は、名目ベースで前期比+2.2%、前年比は+2.3%。物価動向を考慮した実質ベースでは、前期比-0.9%、前年比では-0.3%だった。

③製造業の生産性は、前期比+0.5%、前年比では+0.3%。生産が+2.6%、前年比では+0.9%。労働時間は+2.1%、前年比では+0.6%。

22 : 00

< 経済指標の結果 >

5月メキシコ消費者信頼感指数 86.8 (予想 84.6・前回 83.8)

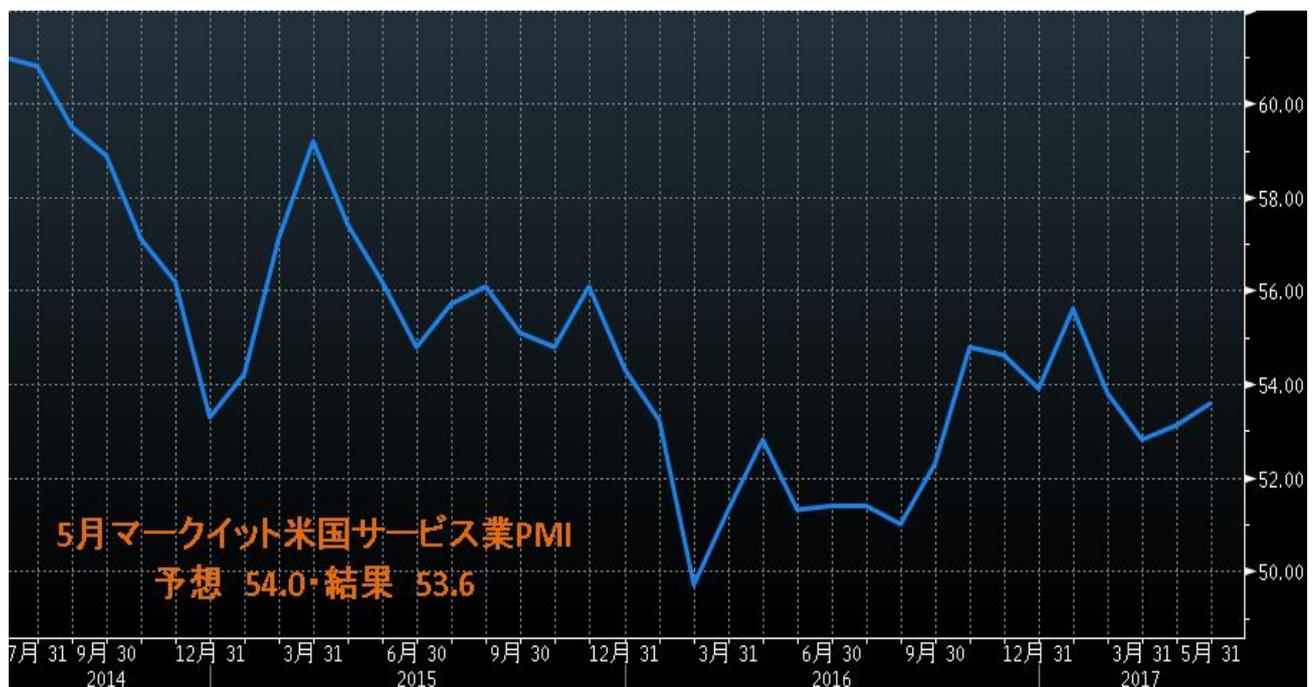


出所 : Bloomberg

22 : 45

< 経済指標の結果 >

5月マークイット米国サービス業PMI 53.6 (予想 54.0・前回 54.0)



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米ISM非製造業景況指数 56.9 (予想 57.1・前回 57.5)



出所 : Bloomberg

#### 経済指標データ

##### ◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
総合指数	56.9	57.5	55.2	57.6	56.6	56.6
景況指数	60.7	62.4	58.9	63.6	60.3	60.9
仕入価格	49.2	57.6	53.5	57.7	59.0	56.1
新規受注	57.7	63.2	58.9	61.2	58.6	60.7
雇用者数	57.8	51.4	51.6	55.2	54.7	52.7

5月の米ISM非製造業総合指数は56.9となり、前月の57.5から低下、市場予想の57.0も下回った。新規受注が57.7と昨年11月以来の水準に低下する一方、雇用は57.8と2015年7月以来の水準に上昇。また支払価格は前月の57.6から49.2に低下し、昨年2月以来の50割れとなった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月米製造業受注指数 (前月比) -0.2% (予想 -0.2%・前回 1.0%)  
 前回発表の0.2%から1.0%に修正

4月米耐久財受注 (前月比) -0.8% (予想 -0.5%・前回 -0.7%)

4月米耐久財受注[除輸送用機器] -0.5% (予想 -0.2%・前回 -0.4%)



出所：Bloomberg

#### 指標結果データ

##### 〈製造業新規受注指数〉

	4月	3月	2月	1月	12月
新規受注	-0.2	1.0	0.8	0.4	1.8
輸送機器を除く	0.1	0.2	0.3	0.7	1.9
資本財	-1.1	4.7	2.3	-0.3	1.6
耐久財	-0.8	2.4	1.4	0.3	0.3
輸送機器を除く	-0.5	0.9	0.3	1.1	0.0
輸送機器	-1.4	5.4	3.6	-1.2	0.9
受注残	0.2	0.3	-0.2	-0.3	-0.4

4月の米製造業受注は、前月比-0.2%の4690.3億ドルとなり、5ヵ月ぶりのマイナスとなった。市場予想と一致した。変動の激しい輸送機器を除いた受注は+0.1%、非耐久財はプラスだったが、耐久財がマイナスとなった。

①耐久財は、前月比-0.8%、このうち輸送機器は-1.4%、民間航空機が-9.1%、自動車・同部品は+0.6%で2ヵ月ぶりのプラス、国防航空機は+7.1%だった。電機・家電は-2.0%、一次金属は-0.7%、一般機械は-0.7%、電算機・電子製品が+1.6%だった。非耐久財は+0.4%。

②資本財は-1.1%、国防関連を除く資本財が-1.8%、民間設備投資の先行指標となるコア資本財は+0.1%だった。国防資本財は+3.6%。

③製造業全体の出荷は、前月比横ばいで、受注残高は+0.2%、在庫は+0.1%だった。在庫は出荷の1.38ヵ月分に相当し、前月から変わらず。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、8日の英総選挙に関する世論調査で、与党保守党の優勢が伝えられて英ポンドが上昇し、収益悪化懸念から輸出関連株を中心に英主要株価は売りが優勢となった。なお、ドイツ市場は休場となった。

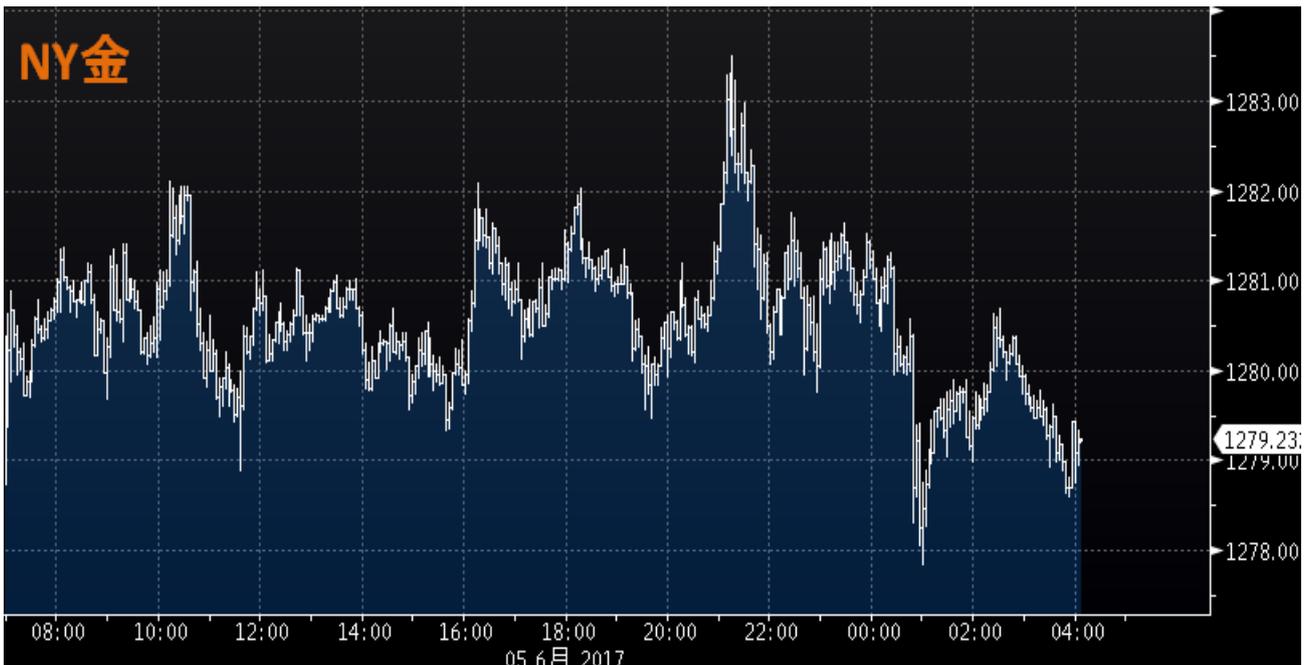


出所：Bloomberg

＜NY金市場＞

NY金は、中心限月が前日比2.50ドル高の1オンス＝1282.70ドルで取引を終了した。

NY金は、週末に英ロンドンで起きたテロを受けて投資家がリスク回避の姿勢を強め、比較的安全な資産とされる金を買われた。また、今週後半の英下院総選挙を巡る不透明感も、支援材料となった。終値ベースでは、4月下旬以来約1ヵ月半ぶりの高値水準となった。

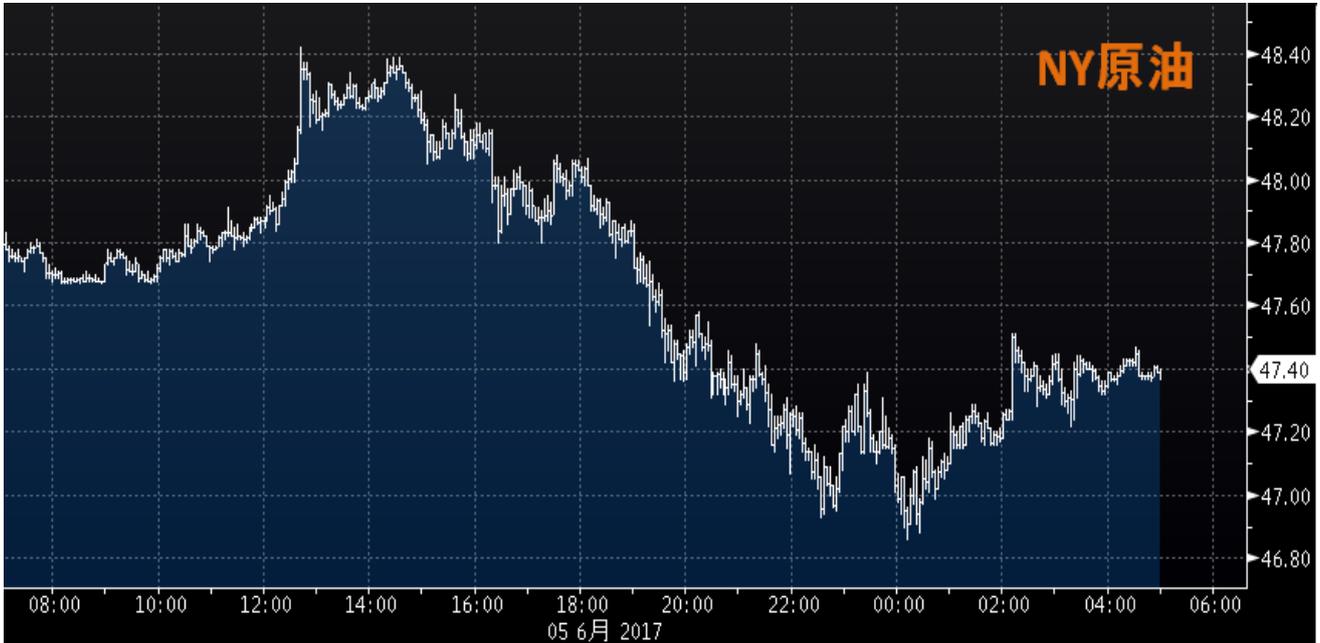


出所：Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

NY原油は、中心限月が前日比0.26ドル安の1バレル=47.40ドルで取引を終了した。

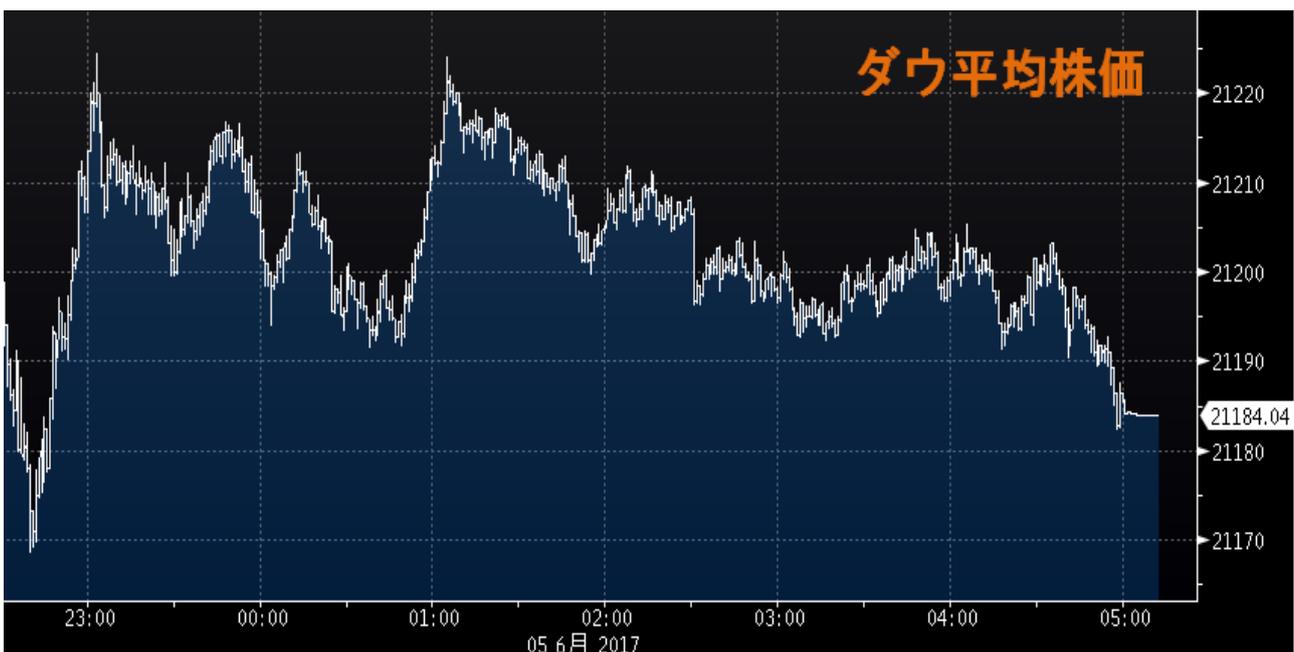
NY原油は、世界的な供給過剰への懸念が根強く売り注文が優勢となった。サウジアラビアやエジプトなどのアラブ諸国が産油国カタルとの断交を発表したことで中東情勢の緊迫化が意識されて、買いが広がる場面もあった。終値ベースでは、5月10日以来約1ヵ月ぶりの安値で引けた。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、ECB 理事会や英国の総選挙を控えて当面の利益を確定するための売りが出た一方、米長期金利の上昇で収益改善が意識された金融関連株などに買いも入り、序盤から売り買い交錯するもみ合いの動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤はプラス圏で推移する場面もあったが、午後にマイナス圏での動きが続いた。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、8日に英総選挙や、FBI前長官の公聴会を控えて、様子見ムードが強まる中、米経済指標結果や米国債利回りの動きにやや影響を受けたものの、全般的小動きの展開が続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。